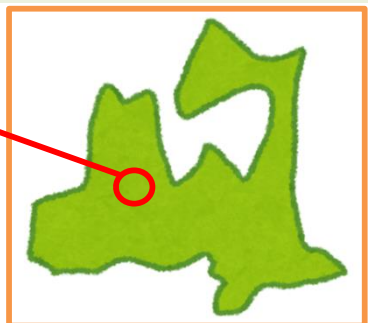


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28年度:計画作成主体:五所川原市農業再生協議会)(青森県)

取組の概要

対象品目 : 大豆(産地面積91.9ha)
 主な取組主体 : 有限会社豊心ファーム
 成果目標 : 販売金額の10%以上の増加
 基準(H27年度) 10,944円/10a
 目標(H30年度) 12,048円/10a
 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース)
 (産業用無人ヘリコプター 1台)

青森県
 五所川原市一野坪地区
 弘前市十腰内地区
 板柳町夕顔関地区
 鶴田町廻堰地区



ポイント

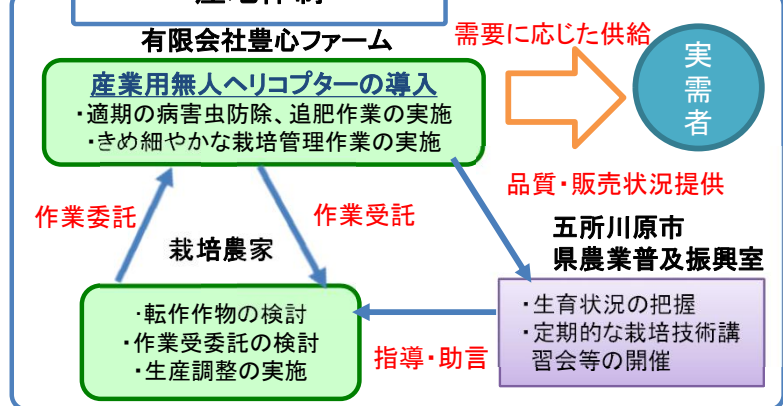
【産地の課題及び取組方向】

当地域の転作の推進に当たり、大豆は畑作物の中で最も重要な位置を占めている。転作田における大豆生産の収益性を高めるためには、効率的な作業体系を構築して作業の省力化を図ることに加え、品質の一層の向上が必要な状況にある。そこで取組主体では、大豆生産農家の作業を積極的に受託するとともに耕起から乾燥調製までを一貫して行うことにより、産地として高品質大豆の生産、販売を実現して、販売金額の増加を図る。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ①産業用無人ヘリコプター等高性能農業用機械のリース導入による適期の病害虫防除及び追肥作業の実施
- ②積極的な作業受委託の展開による大豆栽培面積の拡大
- ③機械化一貫作業体系の確立による大豆の安定生産
- ④きめ細やかな栽培管理作業の実施による高品質大豆の生産

産地体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・産業用無人ヘリコプターを導入し、面積拡大や適期の病害虫防除と追肥を実施
- ・機械化一貫作業体系の確立

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①リース導入による設備投資の節減
- ②適期の病害虫防除、追肥作業の実施による高品質大豆生産
- ③上位等級比率の向上
- ④機械化一貫作業体系の確立

【事業実施による間接効果】

- ①作業受委託の促進
- ②農業機械の有効活用



**販売金額が
42%増加
(達成率414%)**

